グローバル人材の育成

ネイパル砂川 ジュニアイングリッシュキャンプ

1　事業のねらい

英語や異文化に触れる機会の提供をとおし、グローバル人材としての素地を養う。

2　事業の概要

■期日 R6.12.7(土)～8日(日)　一泊二日
■小学校5年生～中学生
■人数 24名（小学生14名　中学生10名）
■場所 北海道立青少年体験活動支援施設ネイパル砂川

3　プログラム

6:00　7:00　9:00　11:00　12:00　13:00　14:00　16:00　17:00　19:00　22:00

7日（土）	受付 13:30～13:45				受付	開会式	えいごdeゲーム 保護者向け講座	クリスマス飾り	クリスマスパーティー	入浴 自由時間 就寝準備	就寝
8日（日）	起床	朝食	ワールドフェスタ	閉会式	12:00 解散						

4　ねらいを達成するための活動の工夫

■オールイングリッシュでの運営
開閉会式を含む全てのプログラムを ALT や英文科の大学生ボランティアが英語で進行し、参加者が常に英語に触れられるように運営した。
■英語が堪能なスタッフの確保
参加者24名に対して ALT 6名、英文科の大学生ボランティア9名と、英語が堪能なスタッフを多くすることで、スタッフと参加者が英会話できる機会が多くなるようにした。

クリスマスパーティーの様子

ワールドフェスタの様子

5　事業の評価

参加者変容調査(平均値)　以下の項目で事前事後に6段階で評価

※高校生の留学に関する意識調査（令和元年6月国立青少年教育振興機構）での外国への関心についての意識調査を参考

	事前	事後	変容
1 私は外国へ旅行したい	5.0	5.6	0.6
2 私は外国の文化や生活に興味がある	4.9	5.4	0.5
3 私は外国の人と友達になりたい	5.2	5.5	0.3
4 私は外国の人と話をしてみたい	5.1	5.7	0.5
5 私は外国語が好きだ	4.8	5.2	0.4
6 私は外国の生活にあこがれている	4.6	4.9	0.3
7 私は海外に留学してみたい。	4.7	5.0	0.3
8 私は将来外国で働いてみたい。	3.8	4.5	0.7

・全ての項目が向上した。事業全体をとおして外国の言語や文化への関心が高まったと考える。
・項目7「私は将来外国で働いてみたい」が0.7ポイント上昇。母国を離れ日本という外国で働き生活をしている状況の外国人スタッフとの触れ合いで影響を受けたと考える。

6　ねらいを踏まえた成果と課題

●参加者数に対しての多くの外国人スタッフ、英文科の学生スタッフが対応し、参加者の外国の言語や文化への関心を高めることができた。
○レベルの高い英語活動ができたが、小学生の参加者にとっては難易度が高かったと思われる。事前に想定される英会話のパターンを送るなどして予習を促すことも考えたい。

企画のポイント

学校で学んでいる英語を実際に使う機会を設けることで、実践的な英語力を培う。